

課題：施設栽培の省エネ対策支援

ねらい

県では平成20年度に燃油・資材等高騰対策プロジェクトチームを編成し、燃油高騰対策の手引きを作成するなど省エネ対策を進めてきたところですが、燃油の高騰は今後も継続する傾向であり、施設園芸農家の栽培意欲低下が懸念されています。

そこで、農家の暖房費の低減のために、県の工技センターと(株)エコテックが平成23年度に開発した、「ポイラー炉内壁面輻射増進塗料」(以下省エネ塗料)を活用した暖房機の整備を推進しています。この省エネ塗料は重油暖房機の内面に塗布することで、清掃や空気比調整などの整備と合わせると、暖房費が5～10%削減できるため、施設園芸農家へ塗料活用の整備技術の普及を図ります。

活動地域・対象

地域：県下全域

対象：施設園芸農家(重油暖房機)

普及活動の目標

農家の暖房機整備に対する意識の向上

省エネ塗料を活用した暖房機の整備 現状(H23):35台→H24:100台(累計)→H25:200台(累計)

目標に向けた活動概要

- ①暖房機整備研修会を指導者、農家向けに開催し、暖房機の整備が省エネにつながることを広めました。
- ②暖房機整備実演会により、新技術の普及に努めました。
- ④展示ほを設置し具体的な省エネの事例データを収集しました。



暖房機整備研修会



暖房機整備実演会

普及活動の成果

⑤省エネ塗料を利用した暖房機の整備台数が102台（計画100台）となり技術が普及しました。

表1 省エネ塗料を導入した暖房機の台数

項目	平成23年度まで(台)	平成24年度(台)	平成25年度(台)
導入台数	35	67	268
累計	35	102	370

用語説明 省エネ塗料：正式名称はボイラー炉内壁面輻射増進塗料。暖房機の燃焼炉内（ディフューザーなど）に塗布することで燃焼が促進され省エネにつながる。



右：塗料を塗布したディフューザー

今後の発展方向

- ①新技術等の普及を通じて農家の省エネ意識の向上に努めます。
- ②3年後（平成26年度）の塗料を活用した暖房機の累計整備台数400台を目標に、新技術の普及に取り組みます。

関係者からの声

農業者：一台当たりの整備費用が2.5万円と安く、費用対効果に優れている。
空気調整をするとその場で暖房機の排気ダクト内温度が上がり、新技術の効果が確認できた。

高度専門技術支援センター

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922